

順番	(議席番号) 質問者	質問事項・要旨	答弁を 求める者
		<p>多数発生しており、その対策に生産現場では大変苦慮している。原因としては、多くは炭疽病であるとの報告がされているが、中には萎黄病（いおうびょう）ではないかとの報告もある。</p> <p>特に、萎黄病については、一旦発生するとその菌が他の株へ連鎖することから、非常に厄介な病気であり対策が困難との報告である。</p> <p>昨年、実際にこれらの疫病感染により、植え付けを断念した農家もある。このような状況が続けば、産地を維持形成することに支障をきたすことも考えられるが、これらの疫病に対する指導、対策について町長の見解を問う。</p> <p>3 本町の畜産事業(繁殖メス牛)における生産基盤の維持・拡大について</p> <p>本町における畜産事業、特に繁殖メス牛の飼養農家については、生産者の高齢化や飼料の高騰を受け、戸数・頭数ともに減少し、令和7年末現在で171戸、3,016頭となっている。</p> <p>特に、飼養戸数については、減少に歯止めが掛からない状況にあり、このままでは全国に誇れる子牛の供給産地としての維持形成が困難視される。</p> <p>これまで町としては、生産基盤の維持・拡大を目的とした町単独の事業を推進しているが、資材価格や子牛価格の高騰を受け、さらなる事業費の拡大上乗せはできないものか、町長の見解を問う。</p> <p>4 食料品店舗が無い地域における買い物困難者への支援策について</p> <p>近年、近隣に食料品店がない、交通手段がないなどの理由で、食料品の買い物に苦勞を感じる人、いわゆる「買い物難民・買い物弱者」と呼ばれる高齢者が増加している。</p> <p>本町においても、長年、地域を支えてきた店舗が閉鎖し、その近隣の住民、特に高齢者からは「遠方まで出掛けなければならず非常に不便を感じている。車の運転ができるうちは良いが、それも長くは続かない。本当に先行きが不安だ。」との声が寄せられている。</p> <p>このように、高齢者が住み慣れた場所で安心して生活を続けられるためには、買い物困難者へ何かしらの支援が必要と考えるが、町長の見解を問う。</p>	<p>町長</p> <p>町長</p>

順番	(議席番号) 質問者	質問事項・要旨	答弁を 求める者
3	(8) 武 さとみ	<p>1 現在、学校で行っている「フッ素洗口」について 学校で、集団フッ素洗口を始めて十数年経過したが、フッ素の中毒性を訴えている医師もいるなか、学校で行わなければならない合理的理由を問う。</p> <p>2 教育長のめざす学校（子ども）像について インクルーシブ教育を進め、子どもたちが主体的に楽しく学ぶために「多様化学校分教室」では、どのような子ども像をめざすのか問う。 また、さつま町のすべての学校を、「不登校」ゼロの学校にするために、取り組むべきことを問う。</p> <p>3 弾薬庫建設によるデメリットについて 弾薬庫のあるところでP F A S等の汚染が報道されているが、他にも建設された時の不安を抱えている住民に、デメリットの面をどのように解消するつもりか問う。</p>	町 長 教育長 町 長
4	(4) 徳留 和樹	<p>1 本町の農業振興について 本町における農業振興は喫緊の課題である。 担い手不足、人材不足の中、稼げる農業に向けての政策について問う。 (1) 人材不足、担い手不足に対し、今後スマート農業への取組をどのように考えているのか。 (2) 学校給食を含む、地産地消への新たな考えはないのか。</p> <p>2 今後のスポーツ振興について 近年、本県でもプロリーグなど大変盛り上がりを見せてきている。本町でも小学生、中学生、高校生と全国で活躍できるレベルであり、今後の子どもたちの更なる成長や交流人口増加に向けた各種スポーツイベント等への更なる支援について問う。 (1) フラワーゴラッド鹿児島との取組はどのようになっているか。 (2) 交流型イベント（プロ、モータースポーツを含む）の開催等について。 (3) 全国大会等に出場する方々への支援、また様々なコンテンツでのPR活動など今後、新たな施策はあるのか。</p>	町 長 教育長 教育長 町 長
5	(12) 川口 憲男	<p>1 防災体制について これまでも危機管理の在り方について質問してきたが、次の点を町長に問う。 (1) 町管理河川の整備は、十分と感じているか。河川の河床の浚渫(しゅんせつ)や拡幅の必要性を感じるが、近年の線状降水帯等の影響による降水量の増加に対して、どのような対応策を考えているか。</p>	町 長

